# 感染防止策チェックリスト

様式3

【令和3年11月版 埼玉県】

開催概要	本項目では、チェックリストを記入する前に、催物の情報をご登録ください。			
開催日時	令和4年4月6日 11時30分 ~ 12時30分 令和4年4月6日 15時00分 ~ 15時50分			
イベント名	令和4年度埼玉大学入学式(11:30~) 令和2·3年度埼玉大学入学生歓迎式(15:00~)			
開催会場	さいたまスーパーアリーナ			
会場所在地	埼玉県さいたま市中央区新都心8番地			
収容定員	□ 収容定員なし			
収容率	(大声なし)※1     (大声なし)※1       収容定員の100%以内			
(上限)	(大声あり)※1(大声あり)※1収容定員の50%以内十分な人と人との間隔(なるべく2m 最低1m)			
参加人数	3,400人(予定人数)			
出演者 チーム等	学生、保護者、大学関係者			
主催者	国立大学法人埼玉大学			
主催者 所在地	埼玉県さいたま市桜区下大久保255			
主催者	(電話番号)			
連絡先	048-858-3005			
開催案内等 のURL	http://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/2022-0209-1525- 9.html			
その他の 特記事項 ※ 2	式典では学長式辞、学生代表挨拶、学部長等祝辞等を予定しており、登壇者及 び来客者が大声を出すこととなる内容は実施しない。 客席は一席空けでの着席を実施する。			

<sup>※1</sup>大声の定義:「客が、通常よりもはるかに大きな音量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これ に対する対策を施さないイベントは「大声あり」に該当とすることと整理します。

<sup>※2</sup>大声なしとした場合、大声無しとした理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載してください。

## 感染防止策チェックリスト

【令和3年11月版 埼玉県】

### 基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の必要な感染予防 策)を満たすことが必要です。

※5000人かつ収容率50%超、屋外等定員のない会場においては5000人超のイベント 開催時には具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

	チェック欄	【〇、×、一(該当なし)】
①飛沫の抑 制(マスク 着用や大声 を出さない こと)の徹 底	Ο	【大声なしの場合】 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用や大声(※)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。  (※) 大声の定義を「客が、通常よりもはるかに大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。  【大声ありの場合】「大声なしの場合」 の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。
②手洗、手 指・施設 毒の徹底	0	こまめな手洗やアルコール消毒による手指消毒の徹底を促す(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。)。
	0	主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒の実施。
③換気の徹 底	0	法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気(1時間に2回以上・1回に5分間以上等)の徹底。
④来場者間 の密集回避	0	入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施。
	0	休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等 の体制構築。
	0	大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う 可能性があるイベントは、前後左右の座席と身体的距離の確保

## 感染防止策チェックリスト

#### 基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の必要な感染予防 策)を満たすことが必要です。

※5000人かつ収容率50%超、屋外等定員のない会場においては5000人超のイベント 開催時には具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

	チェック欄	【〇、×、一(該当なし)】
⑤飲食の制 限	0	飲食時の感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十 分な対策 )の徹底。
	0	飲食中以外のマスク着用の推奨。
	0	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用 エリア 以外(例:観客席等)は自粛。
	0	自治体等の要請に従った飲食 ・酒類提供の 可否判断 ( 提供する場合 には飲酒 に伴う大声 等を 防ぐ対策 を 検討。)。
⑥出演者等 の感染対策	0	有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控える など日常 から出演者 やスタッフ等の健康管理を徹底する。
	0	練習時等、 イベント 開催前 も含め、声を発出する 出演者 やスタッフ 等の関係者間での感染リスクに 対処する。
	0	出演者やスタッフ等と観客 がイベント前後 ・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を 講じる(誘導スタッフ等必要な場合を除く。)。
⑦参加者の 把握・管理	0	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者 の把握。
	0	入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症口 状)等を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
	0	時差入退場の実施 や 直行・直帰の 呼びかけ 等イベント前後の感染防止の注意 喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン(該当する業種において策定されている場合)を遵守すること。